

ひら やぐら
平櫓

平櫓は、城内に10棟現存する木造の一重櫓の1つで、じょうようぶんかざい重要文化財に指定されています。築造時期はわかっていませんが、平櫓下の石垣は、熊本城石垣3期（慶長11年〔1606年〕～慶長12年〔1607年〕頃）に築かれたことから、それ以降であると考えられています。

被災状況

平成28年熊本地震によって、櫓を支える石垣の上面が沈み、中ほどが膨らみました。その結果、建物が傾き、屋根や壁が破損しました。また、西側の石垣が崩落し、ひさし櫓の底を押しつぶしました。

復旧方法

平櫓の建物はすべて解体して組み直し、石垣は膨らみを解消するために解体して積み直すことになりました。建物は令和元年（2019年）に、膨らんだ石垣は令和4年（2022年）に解体が完了しました。令和6年（2024年）6月から、石垣の積み直しを開始しました。解体前の写真や図面などを参考に、約800石を元あった場所に戻していきます。石垣は令和7年（2025年）には積み直しを終え、その後に建物の復旧を行う予定です。



被災前の平櫓（平成24年〔2012年〕3月）

基礎情報

木造一重櫓、国指定重要文化財
石垣の高さ…約19m 櫓の高さ…約5.6m



平櫓の被害状況（平成28年〔2016年〕4月）



宇土櫓紫屋根からの景色（令和6年〔2024年〕7月）



平櫓下石垣の積み直し作業（令和6年〔2024年〕6月）